

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	神学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ (学部) コースワークとリサーチワークのバランス (院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供 (学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容 (学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供 (院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供 (専院)

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. カリキュラム・ポリシーに基づいて、開講科目の体系を内外に明示する。	→カリキュラム・マップの作成(2013年度までに)	C	B	A	A	/
2. カリキュラム・ポリシーに基づいて、開講科目の適切性を検証する制度を構築する。	→既存のカリキュラム研究委員会(学部)による検証および教授会に対する報告書の作成(2013年度までに)	C	C	B	B	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	カリキュラム・ポリシーに基づいてカリキュラム・マップを作成するとともに、ディプロマおよびカリキュラム・ポリシーと設置科目の体系を記した関連表を作成した(2010年度)。それらは学部WEBサイトおよび『履修の手引』に公開し、2011年度より履修指導に活用している。またカリキュラム・マップは、教員がシラバスを作成する際の参考としている(「到達目標」への反映など)。
目標2	カリキュラム研究委員会(学部)あるいはFD研修会などの機会に、開講科目の適切性についてたびたび議論がされている。学生による授業評価の結果を、FD委員会(学部)において検討し、カリキュラム研究委員会(学部)、教授会に提示し、授業改善について協議する準備を進めている。また、いまだ試験的ではあるが、授業科目の適切性を検証するツールとして科目のナンバリング導入に取り組み、カリキュラム全体を検証する作業に取りかかった(2013年度)。
備考	